



住宅部門  
事例

12

空き家利活用コンテスト2024 優秀賞（住み継ぐ家賞）

〇邸

100年の歴史を受け継ぎ、  
人も猫もくつろげる和モダンな古民家

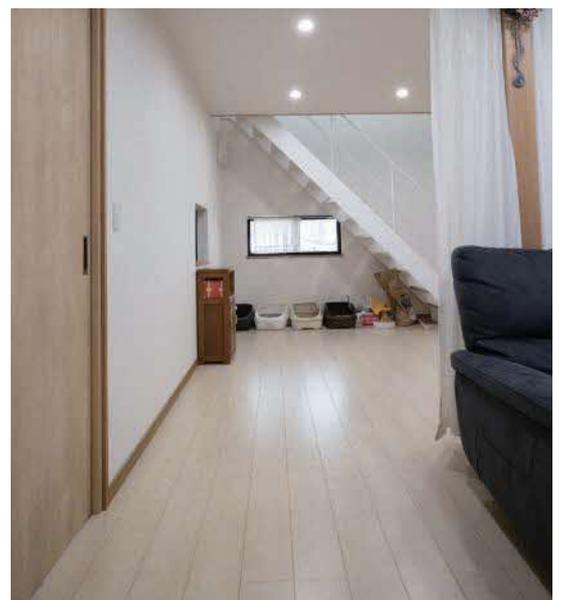


曾祖父が建て、母が育った築約100年の家。長く空き家だったが、このまま朽ちさせるのは惜しいと住み継ぐことを決意した。改修では、歴史ある趣を残しながらも快適な住空間をめざした。

湿気による基礎の傷みが激しく、修繕に時間と費用がかかったほか、伝統的な工法の和室はリフォームを引き受けてくれる職人探しにも苦労した。何とか職人と巡り合い、間取りは極力変えず、広々とした空間を活かしながら風通しの良い住まいへと再生。暗くなりがちな室内には白を基調とした内装を取り入れ、明るさを確保した。

2階は梁をあらわにし、モダンな照明と組み合わせ趣のある寝室に。窓は透明ガラスに変え、四季折々の山の景色や満天の星を楽しめるようにした。1階の和室の雪見障子は残し、和と洋が調和する旅館のような空間に仕上げた。歴史と現代の暮らしが共存する、新たな住まいがここに誕生した。

間取りは大きく変えず、広々とした空間をそのまま活用。風通しの良さを重視し、快適に過ごせる住まいへとリフォームした。



日当たりの良くない場所も明るく感じられるよう、内装は白を基調に統一。光を効果的に反射させ、開放的で心地よい空間を演出。



建具はそのままに障子を張り替えるなど改修。元々風通しが意識された作りで、春、秋は山からの風が心地よい。



和室の雪見障子を残すことで和モダンな雰囲気を残した。戸を開けると洋室に繋がるが、違和感なく、和と洋が一体化して旅館のような空間。





主寝室は蚕部屋を改装。  
あえてカーテンを付けず四季折々の山の景色を楽しんでいる。



[ DATA ]

【所在地】東伯郡三朝町 【構造】木造2階建て  
【築年月】不明(100年以上) 【改修後の用途】住居  
【間取り構成】LDK・個室10室・キッチン・トイレ・風呂  
【改修期間】2022年12月～2023年7月  
【改修費用】約2,100万円